



## 船舶事故分析集

### 遊漁船の安全運航に向けて

#### ～釣り客の脊椎骨折等事故の防止のために～

1. はじめに	1
2. 船体上下動等による事故発生時の状況	2
3. 船体上下動等による事故の事例	4
4. 船首部の上下動に伴う事故防止に向けた取組に関するアンケート結果	6
5. まとめ	8

### 1. はじめに

船釣りは、多彩な釣魚はもちろんのこと、潮の香りや波間の船のたゆたいに日常を忘れて楽しむ娯楽として親しまれています。その一方、船舶は、不安定な水面に浮いて、絶えず風や波などの外力を受けて浮動しており、気象・海象に注意しなければ、安全を保つことが困難となります。

運輸安全委員会が発足した平成 20 (2008) 年 10 月から令和 5 (2023) 年 2 月までに事故調査報告書を公表した事故のうち、遊漁船釣り客の死傷事故は 37 件で、計 46 人の釣り客が死傷しています。死傷事故の態様をみると、37 件のうち 18 件(49%)が、船体が上下動し釣り客の身体が浮き上がり落下すること(船体上下動等)により発生していました。(図 1 参照) また、死傷した 46 人の状況をみると、14 人(30%)が脊椎骨折(主に胸椎と腰椎の境目付近の骨折)を負っており、いずれも船体上下動等による事故により負傷しています。(図 2 参照)

そこで、本ダイジェストでは、釣り客の脊椎骨折等事故防止に向けて、事故の発生状況と事故事例とともに、事故防止に向けたポイントについてとりまとめました。

※ 「死傷事故」とは、死傷者が発生した船舶事故のうち、衝突、乗揚、転覆、浸水、火災などによらないもので、波などの船体動揺によるものや船体からの落水によるものなどが含まれます。

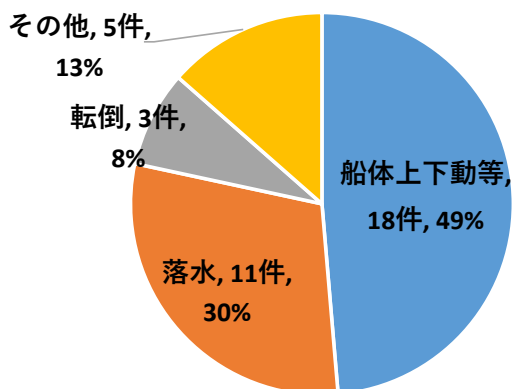


図 1 遊漁船における死傷事故の態様

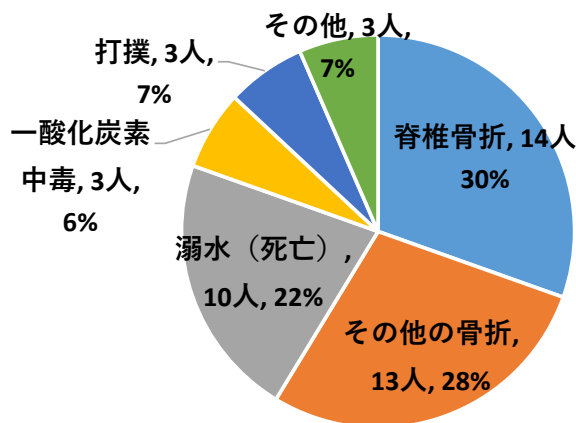


図 2 死傷事故における死傷者の状況